

### 3.基本的な使用方法(食堂運営業者、精算集計方法)

**■ カードリーダーの集計方法 ■**

**① 『カンイ シュウケイクリア』カードを入れます。**

↓

カードを取ります。

↓

**② [+ / ENTER]を押します。**

↓

生カード(真白いカード)を入れます。

↓

印字されたカードを取ります。

↓

終了

カンイ シュウケイクリア

カンイシュウケイ

合算集計になります。

→ 明細なしです

**③ 必ず、カードを取ってから、電源を切って下さい。**

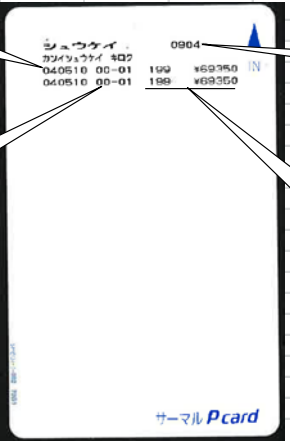
→ カードがそのままの状態では電源を切ると、データがクリアされません。

---

**■ 印字見本 ■**

印字内容はサンプルです

■ 日付  
例) 040510  
4月5日10時



■ 年月  
例) 2009年 4月  
初回集計時に印字

■ 号機 集計連番  
例) 00-01  
0号機 1回目

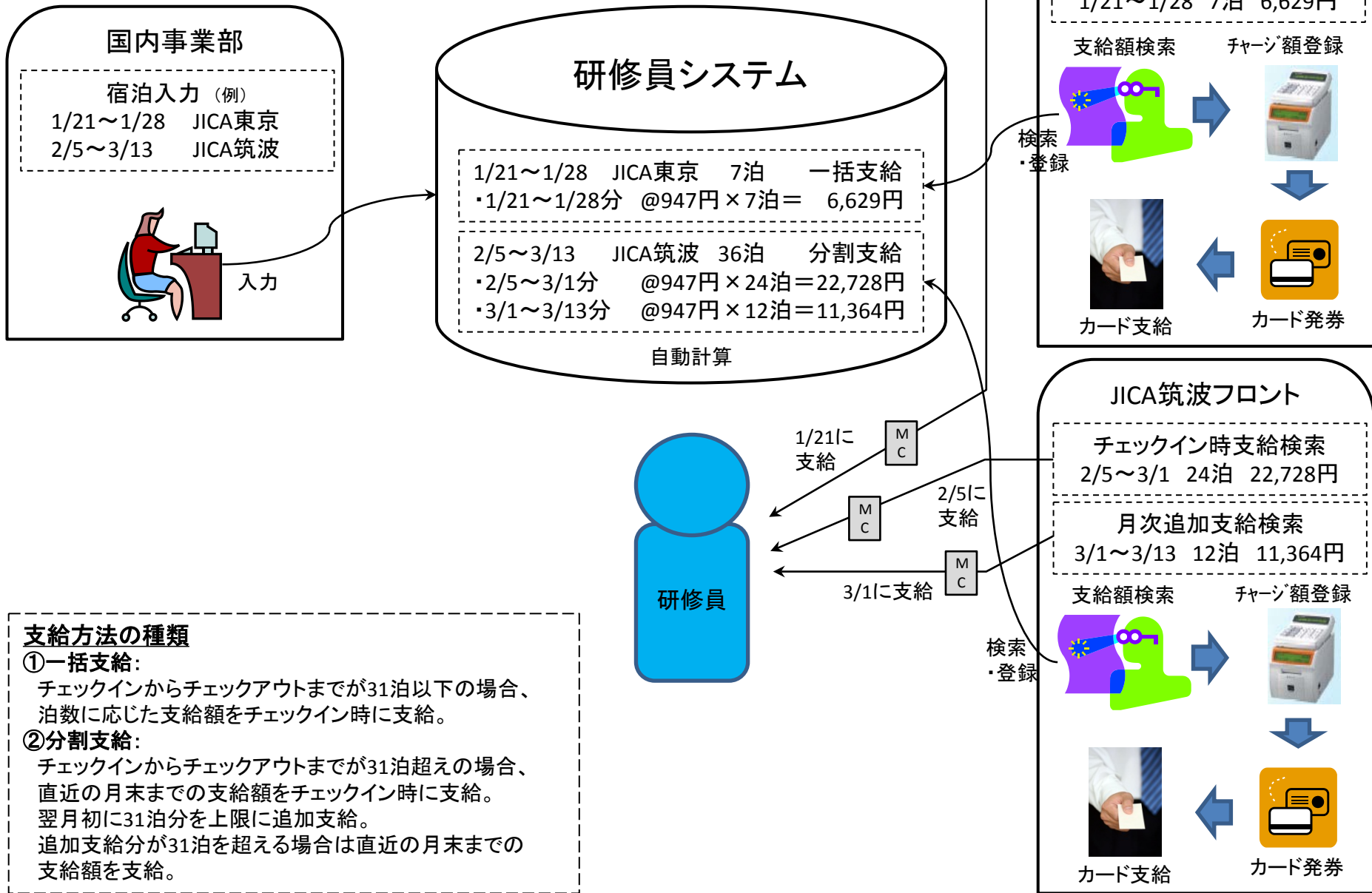
■ 件数 合計金額  
例) 199件 69350円

**MEMO**

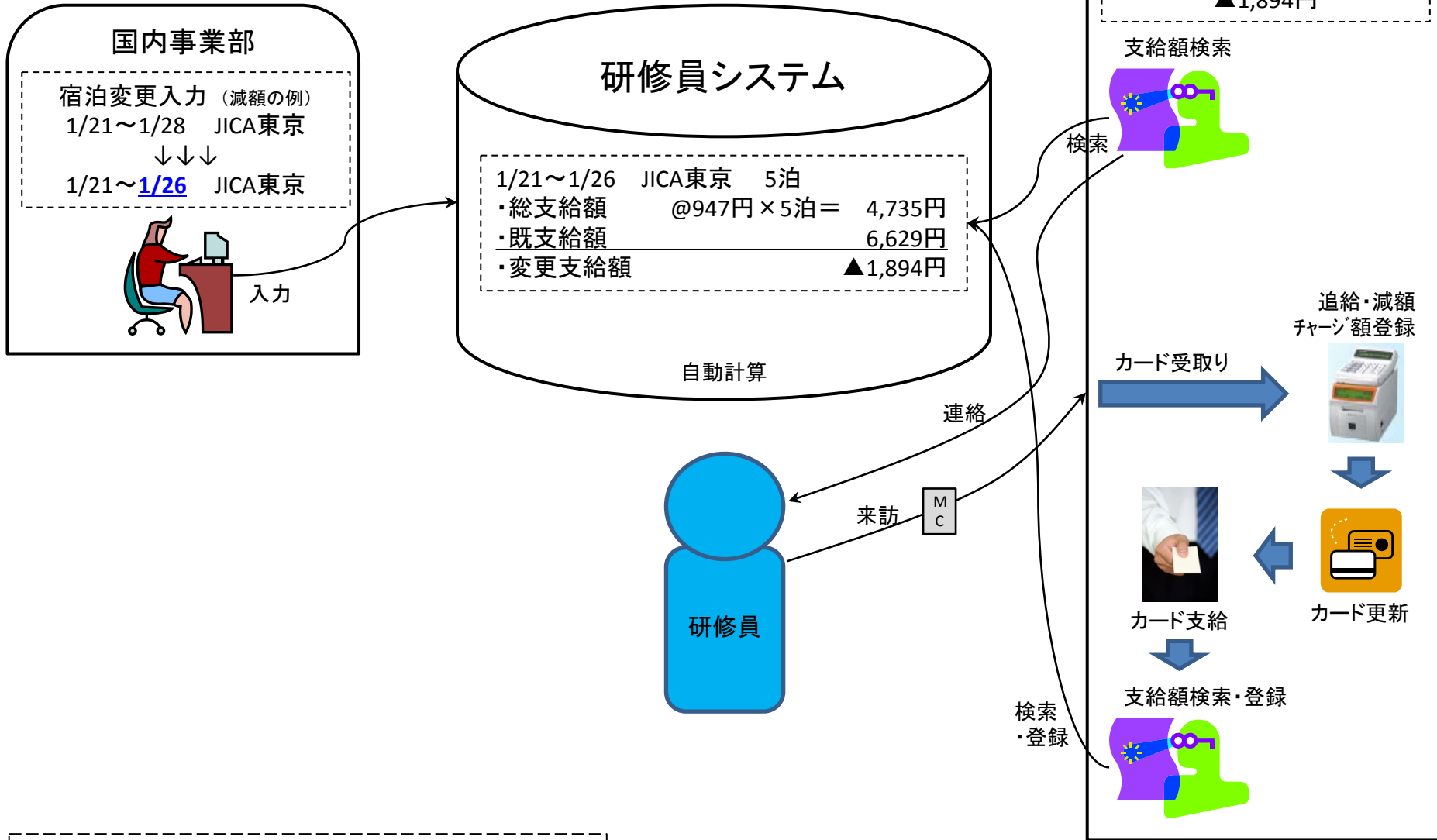
- ・印字スペースがある限り、集計印字できます。(約25回)
- ・簡易的な集計のため、金額の単価は印字しません。(合計÷件数=単価)

103

# チェックイン・トリップイン時支給／月次追加支給



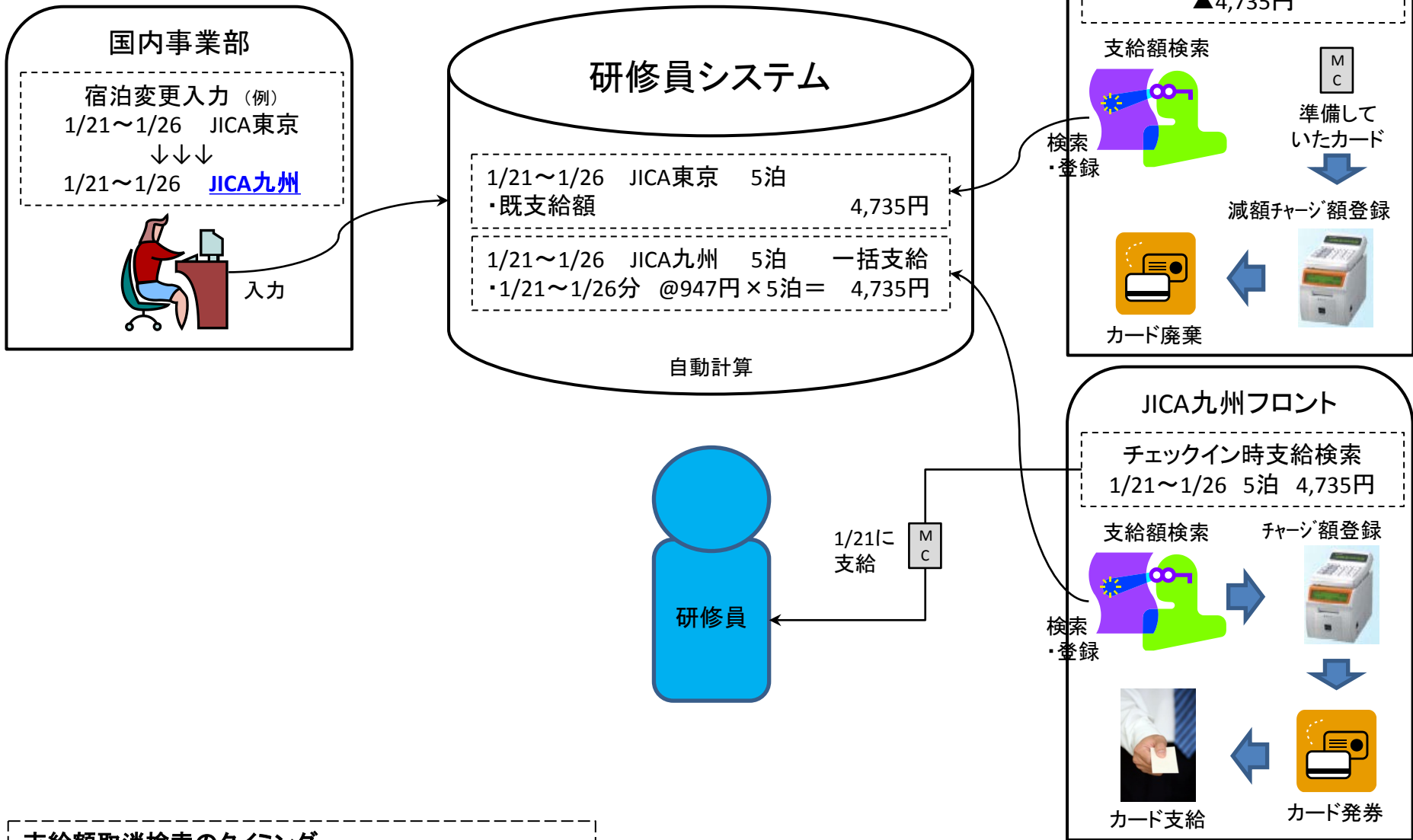
# 支給額変更(追給・減額)時支給



## 支給額変更検索のタイミング

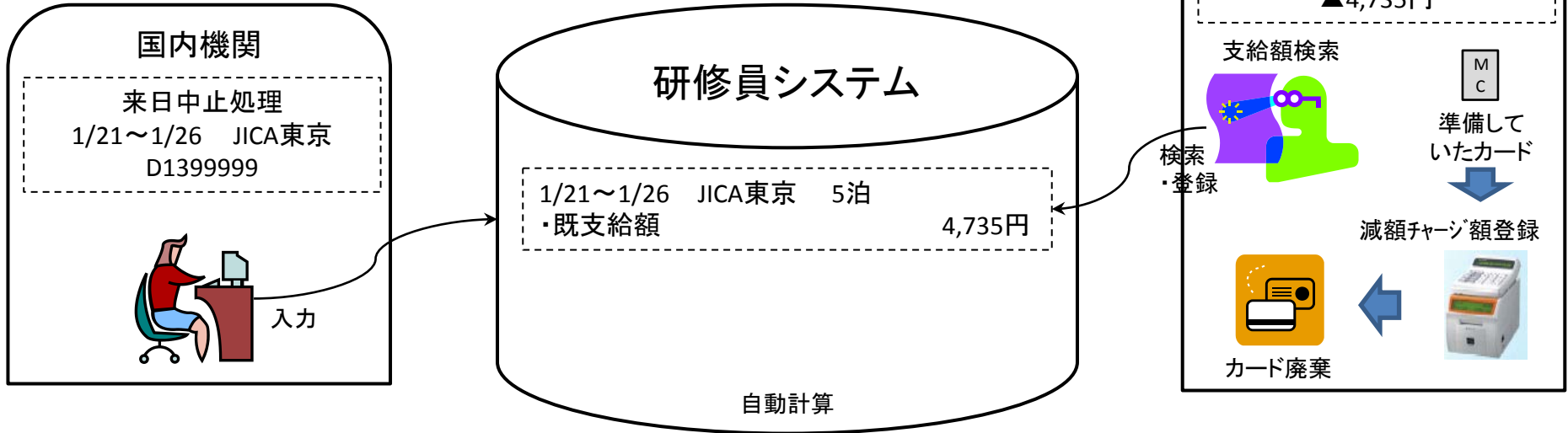
- ①チェックアウト/トリップアウト前
- ②宿泊予約変更時

# チャージ登録取消①(宿舎変更時)



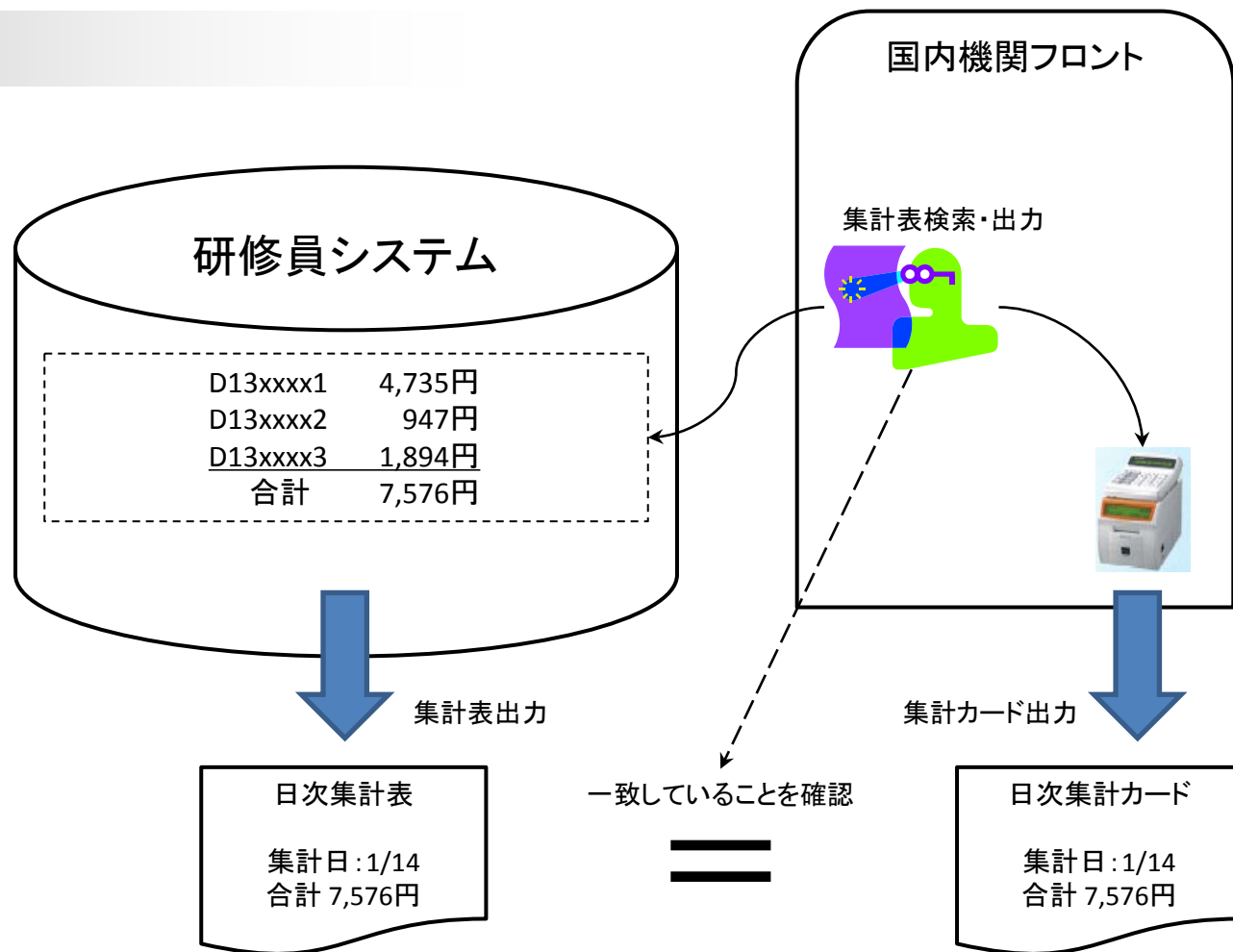
支給額取消検索のタイミング  
 宿泊予約取消時

# チャージ登録取消②(来日中止時)



支給額取消検索のタイミング  
宿泊予約取消時

# 日次集計処理



日次集計処置のタイミング  
集計日の翌日

## 5. 留意点・例外ケースへの対応

想定されるケース	対応予定者	対応方針
研修員がカードを紛失した場合	フロント/JICA	受け渡し時に研修員各自からサインを取りつけている通り、再発行は不可。ブリーフィングの際にも徹底する
センター滞在日程を短縮した研修員から、支給額を超過して使いすぎてしまった場合	フロント	研修員システムで提示される金額と、カードの残額との差額を、国内機関にて現金で徴収し、国内機関で雑収入として取り扱う。
週末・祝日に生じた日程変更（研修員システムに反映されない日程変更）が生じた場合	フロント	最新の宿泊日数×1日当たり支給額 947 円を計算し、発券専用カードリーダー（フロントに設置している機材）で必要金額を追加・減額する。研修員システムと翌週に整合性を取る必要あり。
カードの入金金額を誤入力して発行した	フロント	誤発行についても、発券専用カードリーダー（フロントに設置している機材）で計上されるため、「使用不可処理」（カード入金額の減算及び、カードを使用できないようにパンチ入力する）を行い、日ごとの精算金額に誤計上が起こらないように対応する。
メンテナンスカードを紛失	フロント	グローリーサービス側に至急連絡の上で対応。管理者側は紛失しないよう、管理を徹底する。
レジで入力後、商品の返品・交換が生じた場合	食堂	レジ入力後のカード処理前ならば、返品・交換の対応は可能。 カード処理後に返品・交換が生じた場合、カード処理の取消し等はできないため、取りすぎた超過金額分はレジから現金で返金する。 →レジ担当が、Enter キーの押下（全3回）のタイミングでオーダーを復唱確認し、商品のキャンセルは受け付けない。
カードの残金額が不十分	食堂	レジで不足分を現金徴収する。
カードリーダーの不具合	JICA	(株)グローリーのコールセンター側に至急連絡。メンテナンスフリー期間は通常5年程度であり、5年経過後は各国内機関にて再購入等も検討する。
カードを発行した国内センター以外で使った場合	食堂	基本的には発行国内機関で使用するようブリーフィング時に伝えるが、使用を不可とはしない（概算払いを超えた金額となった場合は、国内事業部計画課に予算措置について相談する）

※その他質問事項等は、Kenshu Knowledge Sharing「ミールカードマニュアル&FAQ」を参照。

## ※各国内機関に配備する機材の保守運用一覧

1. カード処理機保証期間:2014年4月～2014年9月
2. カード補充依頼先:グローリーサービス株式会社東日本営業部(03-5687-2888)
3. カード不具合等の問い合わせ先:

No.	対象拠点	機器台数	コールセンター TEL	最寄の保守店
1	JICA北海道(札幌)	2	011-707-2112	北海道グローリー株式会社(本社)
2	JICA北海道(帯広)	2	0155-27-2774	北海道グローリー株式会社(帯広営業所)
3	JICA筑波	2	03-5804-2711 (東日本コールセンター)	土浦出張所
4	JICA東京	3	03-5804-2711 (東日本コールセンター)	東京南SC
5	JICA横浜	2	03-5804-2711 (東日本コールセンター)	横浜中央営業所
6	JICA中部	2	03-5804-2711 (東日本コールセンター)	東海支店
7	JICA関西	2	06-6202-0135 (西日本コールセンター)	神戸営業所
8	JICA中国	2	06-6202-0135 (西日本コールセンター)	中四国支店
9	JICA九州	2	06-6202-0135 (西日本コールセンター)	北九州営業所
10	JICA沖縄	2	06-6202-0135 (西日本コールセンター)	沖縄営業所
合計		21		

### スポット保守サービスについて

修理のご依頼をいただきましたら、テクニカルスタッフを派遣して修理を実施。

料金をその都度、ご精算させていただく保守サービスとなっております。

保守料金につきましては、修理のご依頼に対し料金をその都度、ご精算させていただきます。

料金の内訳は、以下の通りになります。

基本料+派遣料+部品代

### 営業時間のご案内

月曜日～金曜日:9:00～17:30 / 土曜日:9:00～14:30

日曜・国民の祝祭日:受付していません。

※但し、国民の祝祭日の振替休日および12月31日、1月2日、3日は休日とさせていただきます。